

令和6年度
学校だより

沼津市立愛鷹小学校

あしたか



志を持ち たくましく生きる人



No. 10 12月20日

*親子でお読みください

楽しく充実した冬休みを

8月29日(木)にスタートした78日間の2学期が終業しました。そして、1月1日の能登半島地震からはじまり、多くの自然災害に翻弄された令和6年が終わろうとしています。現在も未だ不自由な生活が続いている地域もあります。安全や防災について今一度考え直し、多くのことを学んだ1年でした。そして、健康で当たり前な学校生活を送れることの大切さ、ありがたさを改めて感じた1年でした。

そのような中、「できたがいっぱい愛鷹小」の学校教育目標に向かって、子供たちが成長を続けられることは、保護者の皆様や地域の方々の御理解と御協力があってこそと思います。心より感謝申し上げます。今後も、新しい学びのスタイルも取り入れながら、子供たちのよりよい成長のために教育活動を進めてまいります。変わらぬ御協力をお願いいたします。

2学期の
「できた」
がいっぱい

初めての運動会 1年生



楽寿園探検 2年生



社会科見学 3年生



今沢中見学交流 なかよし



福祉施設交流 4年生



収穫感謝の会 5年生



修学旅行 6年生

2学期は、多くの学校行事や学年行事がありました。体験を通して、いろいろな学びをし、成長しています。これからも、様々な人、もの、ことと関わることを大切にしながら教育活動を進めていきます。

＜冬休みに向けて＞

□人のために働く

秋には鮮やかに紅葉していた木々は、寒さが厳しくなるにつれ葉を落とし、あっという間に落ち葉が地面を覆います。その落ち葉を事務員さんが毎朝集め、子供たちが過ごしやすい環境を整えてくれます。本校は樹木が多く、この季節に一人では大変な作業です。最近、その落ち葉掃きを、数名の子供たちが手伝っています。強制ではなく、自ら進んで朝の寒さの中働いています。その子供たちの表情は生き生きとしてとてもすばらしいです。このような姿が見られることをとてもうれしく思います。と同時に、子供たちは、人のために働くことの心地よさを体験しているのだと感じています。このようなすてきなあらわれが、様々なところに広がっていくことを期待しています。

冬休みは年末の大掃除など家族の一員として働く機会が増えると思います。ぜひ家庭で働くチャンス子供たちに与えてください。家庭は小さな社会です。家庭での「家族のために働く」心地よさが、外の社会で「人のために働く」ことにつながります。そしてそのときに感じた心地よさこそ、子供たちの自己有用感を高め、次の成長への意欲となると思います。

□トラブルを未然に防ぐ

冬休みは、子供たちの自由になる時間やお金が増え、トラブルに発展しやすい時期と言えます。年末年始の忙しい時期ですが、家の人からの声掛けや見守りをお願いいたします。特にSNSに関係したトラブルは、年々増加しています。顔を見ずにやりとりされる情報により、事件や犯罪に巻き込まれることもあります。学校では、携帯電話やインターネットは、保護者の見守り(ペアレンタルコントロール)のもと、家の人と約束を決めて使うよう指導しています。冬休み中も、トラブルを未然に防ぐために、御理解と御協力をお願いいたします。